



2019年2月1日
第642号

1部10円(組合員は組合費を含む)
郵便振替0960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)
発行人 大橋 裕子
連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

「会計年度任用職員」制度 対府交渉

ずさんな制度設計が判明！ 非常勤講師の労働条件を適正化せよ！

1月18日、大阪府との間で「会計年度任用職員」について2回目の団交が持たれました。1回目の団交から組合は、提案事項ではなく添付された「参考資料」の中に多くの問題があることを指摘し続けました。



「休憩時間である」などと、あり得ない設定で回答しました。それならば一度自宅に帰ることも可能なはずですが、交通費の支給は1日付1回としているのですから、実態は職場の中で、授業の準備や評価などに携わることを期待しているのでしょう。

發揮しているだけです。非常勤講師を多用せざるを得ない大阪府の教育の現状で、何ら抜本的な解決、制度設計を行う意思がないことだけが判明しました。組合は引き続き、あるべき非常勤職員の働き方について、現場のみなさんからの意見を募ります。

授業の空きコマは

職場から離脱?!

例えば、非常勤講師の勤務時間について「授業時間の開始時刻の前5分、終了時刻の後5分を含む(授業1時間が50分に満たない場合は、授業に連続する準備や評価の時間と合算して60分)旨を明示」とされています。

これについて府は、「今まで明確化されていなかったものを明確化しただけであり、労働条件の変更には当たらない」と言い張り続けました。勤務時間を明確にしていけないという大きな問題だけでなく、1日の中で持ち授業に合わせて始業や終業が繰り返すことを、「職場から離脱していた

身分の縛りだけは「公務員」

その他にも「参考資料」には、新たに導入される評価制度、条件付き採用、兼業への事前報告など、多くの変更が含まれていますが、現在のところ、府は「丁寧な説明をさせていただく」、と国会答弁と変わらぬ「官僚っぷり」を

酒井さとえ(書記長)



高校支部 対府 定期交渉

法定授業日数を満たしていれば補充の必要はない!!

高校支部は、1月17日に府教委と定期交渉を行いました。追及は多岐にわたりましたが、たとえば、学校図書館には専任をおかない(違法!)、司書教諭が図書館の仕事に携わっていない名前貸し状態(もちろん違法!)、図書館利用教育の推進という学習指導要領違反状態、準備室にエアコンがない労働安全衛生法違反、数々の違法状態であるという追及に彼らはただだんまりに終始するというお粗末さ。途中何度も回答を促しました。

唯一、明確な回答があったのが、災害時等における授業補充の問題です。各学校とも災害等を見越して、法定175日を少し上まわる日数を設定していますが、府教委から、

どんな場合でも日数が欠けたら補充せよとの指示が出されているのではないかとされる現場の対応について真偽を糾しました。府教委の回答は以下の通りです。

通知文には日数を上まわっている場合でも補充をせよ、などという文言は一切ない。臨時に授業日を休業日にしても、必要な授業日数を確保している場合は、休業日の日数分を授業日にしてもよい、という記載はある。これは学校で学ばせたいものを保障するために学校として必要だと思うならば、やっても構いませんよという意味であり、どんな場合でも補充せよなど一言も言っていない、と明確に言い切りました。

授業日数175日を上まわっていれば、補充の必要はありません。校長がやれといって

きた場合には、この回答を突きつけてやりましょう。

上遠野浩一(高校支部)

当面の日程

2月2日(土)14時~ 大阪国労会館(JR天満・地下鉄扇町駅)
Tネット総会・講演会

- ・空野佳弘弁護士「憲法学者西原教授が訴えたかったこと」
- ・辻谷博子組合員「大阪の学校現場から」

2月2日(土)19時~ アクア文化ホール(阪急曽根駅)
『今だから語りたい! 森友問題の「真実」』

- ・対談: 相澤冬樹さん(元NHK記者・現大阪日日新聞論説委員)
木村 真さん(森友学園問題を考える会・豊中市議)ほか

2月6日(水)18時半 新阿波座公園 19時10分~デモ

2月10日(日)14時 新町北公園(地下鉄四ツ橋駅、西大橋駅)
あかんやろ! カジノ御堂筋パレード

2月11日(月)13時~ 大淀コミュニティセンター
「2・11「戦争する国」も「神の国」もゴメンだ!」

- ・講演: 鶴飼哲さん「21世紀の天皇制とその批判の論理」

デモ16:30出発予定(梅田まで) 資料代: 700円

2月22日(金)18時45分~ エルおおさか南館72 大阪全労協学習会
「労働者代表選挙! 労働者代表って何? どう活用するの?」

2月28日(木)15時半 大阪高裁74号法廷
「君が代」不起立戒告処分撤回共同訴訟

3月6日(水)10時 大阪地裁809号法廷

岸和田支援学校非常勤看護師パワハラ解雇撤回訴訟 第7回口頭弁論

南河内支部 羽曳野市教委と定期交渉

南河内支部は、昨年12月14日、1月15日の2回にわたり、羽曳野市教委と定期交渉を行いました。教職員の労働条件、「日の丸・君が代」強制反対や学力テストの問題、そして最も重要な臨時的任用職員の継続雇用などについて交渉しました。

現場の声を市教委に届ける！

教職員の時間外労働に関して、大規模校への学校公務員複数配置、教職員1人に1台のパソコン支給、1学級40人を超えないよう支援学級在籍児童生徒の「ダブルカウント」実現、を求め交渉しました。どの項目も大変厳し

い回答で、団交は紛糾寸前に。

学校校務員の大規模校複数配置については、まずは週2日程度から2人配置するよう努力せよと迫り、教育総務課からは「現状厳しいと思いますが、努力します」と少し前向きな回答を引きだしました。

羽曳野市教委は、昨秋、市内の小学校5年生と中学校2年生に、市独自の学力テストを強制実施しました。組合はこれに反対。「来年度も実施するのか？」と学校教育課に迫ったところ、「実施するかどうかは白紙」と回答しました。今後も組合は、現場からの不評の声を市教委に伝え、実施しないように要求を続け

ていきます。

組合は、卒入学式等の「日の丸・君が代」に対し、「職務命令」を発令するかという確認も行いました。学校教育課は明言しなかったものの、「これまでとスタンスを変えない」と回答。例年どおりの交渉におさまったものの、交渉でのやり取りでは、例年にみられない「きな臭い」雰囲気にも包まれ、注視していく必要があります。

講師の雇用継続を勝ち取ろう！

そして最も重要な講師継続雇用の要求も行いました。南河内支部には、現在、羽曳野市内の小中学校で働く講師組

合員があり、勤続年数が20年を超える組合員もいます。学校教育課は、「例年どおり、基本的には継続の方向で考えている」と回答しました。

羽曳野市で働く80人の講師のみなさん、そして富田林市・藤井寺市などの講師のみなさん、毎年この時期、次年度の雇用に不安を感じているでしょう。確実に雇用を勝ち取るためには、府教委や市教委に継続雇用の要求を行い、交渉することが必要です。待ちの姿勢ではなく、組合に加入し、一緒に来年度の雇用を自分たちで勝ち取りましょう。今なら間に合います！

半澤慎二（南河内支部）

文化おちこち

(212)

映画・演劇・音楽は自由をめざす！

【その7】

ロックと映画

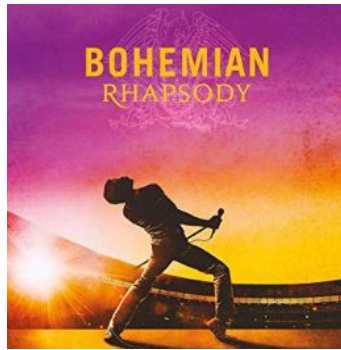
「エリック・クラプトン 12小節の人生」('17英 リリ・フィニー・ザナック監督)



過去の映像とクラプトン自身のナレーションで綴られるドキュメンタリー。

不遇な少年時代を経て成功するが、そこからが苦悩の連続に。親友ジョージ・ハリソンの妻パーティを巡る争い、酒に溺れステージで「人種差別発言」をしてしまった後悔、ジミ・ヘンドリックス(27歳)やデュアン・オールマン(24歳)の死を知った悲しみなどのエピソードが続く。最愛の息子の転落死という不幸を背負って作った「ティアーズ・イン・ヘヴン」は生ギターで演奏された。近年は薬物・アルコール依存症者の回復施設を設立している。

「ボヘミアン・ラプソディ」('18英 ブライアン・シンガー監督)



QUEENのフレディ・マーキュリーを描いた劇映画。「キラークイーン」で人気を得た後、レコード会社からの二番煎じの曲作り要求を拒否し、「ボヘミアン・ラプソディ」「伝説のチャンピオン」など独創的な曲を発表した。映画では「パキ」と侮蔑語で呼ばれるシーンや親との交流場面でゾロアスター教を信仰するペルシャ系インド人であることも触れられている。HIV感染症によって45歳で死去。

QUEENの曲「レディオ・ガガ」から名付けたレディ・ガガ主演の映画「アリーノスター誕生」('18米 ブラッドリー・クーパー監督)が公開。レディ・ガガはトランプ当選直後、トランプタワー前で「LOVE TRUMP HATE/ 愛は憎しみに勝る」のプラカードを掲げた。

(田中浩昭・高校支部)

2. 11「戦争する国」も「神の国」もゴメンだ！ 集会へ結集を！

2月11日(月) 開会13時(開場12時)

会場 大淀コミュニティセンター(大淀区)

参加費 700円(学生・障がいのある方等 無料)

主催 教育合同 南河内支部

2月11日、戦前「紀元節」として神話上の神武天皇が即位したとされる日が、戦後も「建国記念の日」として祝日に指定され、今年も巡ってきます。

「日の丸・君が代」強制反対・不起立処分を撤回させる大阪ネットワークは、「建国記念の日」に反対し、「日の丸・君が代」処分撤回をめざして、今年も集

新元号を最大限に政治利用しようとするのは為政者の常套手段 それに乗っかるメディアや世論もお調子者 さらに今

会を開きます。今年、今の天皇の在位30周年を記念したり、5月1日(世界中の労働者にとって大切なメーデー)に、新天皇が即位する予定だったりすることで、2月11日は例年にも増して、天皇への賛辞、祝辞が溢れるかもしれません。

「教育勅語・日の丸・君が代・元号」など、天皇にまつるものを利用してナショナリズムを鼓舞し、「戦争する国」づくりを進める安倍政権に反旗を翻し、平和・人権・民主主義の世界をともに作りだすことをめざす、この集会にぜひご参加ください。増田俊道(書記次長)

2・11「戦争する国」も「神の国」もゴメンだ!
日時: 2019年2月11日(月)
開場12時半 開会13時
場所: 大淀コミュニティセンター
資料代: 700円

は忖度政治 元号も「安倍」に忖度か? 新元号の頭文字は新しい時代だ、五十音、アルファベットの最初の字だ何だのと理由をつけて「安」になるのでは?